

咳が長引く時・熱が下がらない！
もしかしたら……



マイコプラズマ感染症かもしれません

いわき市立平第一中学校

2016.11.2

全国で、マイコプラズマ肺炎の患者数が過去最多と報道されました。

薬を飲んでもなかなか熱が下がらない、発熱後、咳が長く続いている場合は、速やかに医療機関に受診します。

- **マイコプラズマ感染症とは**
マイコプラズマという細菌により感染する病気です。
マイコプラズマ肺炎もひきおこします。
- ※ **症状**: 発熱発症し、その後咳が出ます。初期は頭痛・全身倦怠(体がだるい)・のどの痛みを伴う事が多く、風邪の症状に似ています。
潜伏期間は2～3週間で小学生・中学生にかかりやすい感染症です。
- ※ **治療方法**: マイコプラズマに効果のある抗生剤を使用します。普通の風邪薬では効き目がありませんので、受診が必要です。
- ※ **予防方法**: 飛まつ感染・接触感染ですので、うがい・手洗いの励行をお願いします。

熱と咳が2～3日以上続いたら、早めに医療機関を受診するようご指導下さい。

なお、マイコプラズマ感染症(肺炎)は、出席停止の対象の疾病になります。**医師から診断されましたら、速やかに学校までご連絡ください。**



うがい・手洗いは、病気予防の第一歩です。
励行できるようにお願いします。